

若い皆さん、 どんな人生を送りたいですか

「識別力があなたを保護する」。[格言 2:11](#)

[135 番の歌](#) エホバの温かな呼び掛け 「わが子よ、 賢く」 ありなさい

何を学ぶか*若いさんは、 エホバとの友情を保ったり正しいことをしたりするのを難しく感じることがあるかも
しません。 エホバはその気持ちをよく分かってくれています。 どうすれば、 賢い決定をして天のお父さんに喜んで
もらえるでしょうか。 ユダの王になった3人の若者の例から学ぶことができます。

1. エホアシュ、 ウジヤ、 ヨシヤはどんな難しい状況に置かれましたか。

もし、 若いあなたが王として神の民を治めることになったとしたら、 どう感じますか。 与えられた
権威や力をどんなふうに使いますか。 聖書には、 ユダの王になった若い人たちの記録が載せら
れています。 例えば、 エホアシュは7歳で、 ウジヤは16歳で、 ヨシヤは8歳で王になりました。
きっと大きなプレッシャーを感じたに違いありません。 もちろん大変なこともありましたが、 3
人ともエホバや他の人の助けを得て、 問題に上手に対処し、 良いことをたくさん行うことができ
ました。

2. エホアシュ、 ウジヤ、 ヨシヤの例に注目するとよいのはどうしてですか。

2 私たちは王ではありませんが、 エホアシュ、 ウジヤ、 ヨシヤの記述から大切な点を学ぶことが
できます。 3人は良い決定をしましたが、 悪い決定もしました。 3人の例から、 ①良い友
を選び、 ②謙虚な心を持ち、 ③エホバに仕え続けることの大切さについて学べます。

良い友を選ぶ



良い友達のアドバイスに耳を傾けるなら、 エホアシュの手本に倣うことができる。 (3, 7節を参照。)

*写真や挿絵: 経験を積んだ姉妹が若い姉妹に良いアドバイスをしている。

3. エホアシュ王は、 大祭司エホヤダの教えに従ってどんな良い決定をしましたか。

3 エホアシュのように賢い決定をする。エホアシュ王は若い頃に賢い決定をしました。父親はいませんでしたが、エホバに忠実に仕えていた大祭司エホヤダの教えに従いました。エホヤダはエホアシュを自分の息子のように大切に育て、エホバについて教えました。エホアシュはエホヤダのようにエホバに仕えることを選び、自分の民がエホバに仕えるように助けました。さらに、エホバの神殿を修復することにも取り掛かりました。（代二 24:1, 2 エホアシュは7歳で王になり、エルサレムで40年治めた。彼の母はツィブヤといい、ベエル・シェバの人だった。2 エホアシュは祭司エホヤダの時代中ずっと、エホバから見て正しいことを行なった。4 その後、エホアシュはエホバの家を修復することを心から願つた。13, 14 こうして監督たちは工事を開始させ、その監督の下、修理の工事は進んでいった。やがて真の神の家は元通りに修復され、補強された。14 完了するとすぐ、彼らは残りのお金を王とエホヤダの所に持ってきた。そのお金は、エホバの家のための器具を作るのに使われた。奉仕のための器具、捧げ物を捧げるための器具、杯、金銀の器具である。エホヤダの時代中ずっと、エホバの家で全焼の犠牲がいつも捧げられた）

4. エホバのおきてを大切にすることは私たちのためになります。どうしてそう言えますか。（格言 2:1, 10-12）

4 あなたはエホバを愛し、エホバの基準を守るように教えてもらっていますか。そうであれば、素晴らしい贈り物をもらっていることになります。（格言 2:1 わが子よ、あなたが私の言葉を受け入れ、私のおきてを大切にする(*蓄える)なら、10-12 知恵があなたの心に入り、知識が心地よいものとなる時、11 思考力があなたを見守り、識別力があなたを保護する。12 あなたを次のものから救い出すためである。悪い道から、堕落した事柄を話す人から、を読む。）親はいろいろな方法で教えてくれることでしょう。カーチャ姉妹の父親は、良い決定ができるように姉妹を助けました。毎日姉妹を学校へ送っていく時に、その日の聖句について一緒に話し合うようにしました。姉妹はこう言います。「おかげで、学校で大変なことがあっても、エホバに喜ばれることを行ないました」。でも、聖書に基づくルールを守るように親から言われて、窮屈に感じることがありますか。そういう場合、どんなふうに考えたらいいでしょうか。アナスタシヤ姉妹の両親は、ルールを作る理由について時間を取って説明しました。姉妹はこう言います。「おかげで、親がルールを作るのは私の自由を奪うためではなく、守りたいと思ってくれているからだ、ということが分かりました」。

5. あなたの行動を見て、親やエホバはどのような気持ちになりますか。（格言 22:6; 23:15, 24, 25）

5 あなたが聖書に基づくアドバイスを当てはめて行動するなら、親は喜ぶことでしょう。さらに大切なこととして、エホバに喜んでもらうことができます。エホバとの絆を強くすることもできます。（格言 22:6 少年(*子供/若者)を彼の行くべき道に沿って育てよ。彼は年を取っても、それから離れない。23:15 わが子よ、あなたのが賢くなったら、私は心から喜ぶ。24, 25 正しい人の父親は必ず喜びにあふれ、賢い子の父親になる人はその子のことを喜ぶ。25 あなたの父親と母親は喜び、あなたを産んだ母親は喜びにあふれるを読む。）そう考えると、若い時のエホアシュのように賢い決定をしたいと思いませんか。

6. エホアシュは誰のアドバイスに従うようになりましたか。どんな結果になりましたか。（歴代第二 24:17, 18）

6 エホアシュの悪い決定から学ぶ。エホヤダが死んだ後、エホアシュは友達の影響を受けて悪いことを行うようになりました。（歴代第二 24:17, 18 エホヤダの死後、ユダの高官たちが来て、王にひれ伏した。王は高官たちの言葉に耳を傾けた。18 民は父祖たちの神エホバの家を捨てて、聖木や偶像を崇拜するよう

になり、その罪のゆえに神の怒りがユダとエルサレムに向けられたを読む。) エホバを愛していないユダの高官たちのアドバイスに従うようになったのです。もちろん、エホアシュはこうした人を友達にするべきではありませんでした。(格 1:10 わが子よ、罪人に誘われても、応じてはならない) でもエホアシュは高官たちのアドバイスに耳を傾けました。いとこのゼカリヤから正された時には、ゼカリヤを殺してしまいました。(代二 24:20, 21 祭司エホヤダの子ゼカリヤは神の聖なる力を受け、高い位置に立って民にこう言った。「真の神はこう言っています。『あなたたちはどうしてエホバのおきてを破るのか。あなたたちは成功しない。あなたたちがエホバを捨てたので、神もあなたたちを捨てる』」。21 しかし彼に対して陰謀が企てられ、王の命令により、彼はエホバの家の庭で石打ちにされた。マタ 23:35 こうして、正しい人アベルの血から、あなた方が聖なる所と祭壇の間で殺害した、バラキヤの子ゼカリヤの血に至るまで、地上で流された正しい人の血全ての責任をあなた方は負います) 本当にひどい話です。エホアシュは人生の良いスタートを切りましたが、やがて背教し、人殺しになってしまいました。そして最後には、自分の家来たちに殺されました。(代二 24:22-25 こうして、エホアシュ王はゼカリヤの父エホヤダが示してくれた揺るぎない愛を忘れ、エホヤダの子を殺した。ゼカリヤは死に際にこう言った。「エホバがご覧になって、あなたに責任を問いますように」。23 年の初め、シリアの軍隊がエホアシュを攻めに来て、ユダとエルサレムに侵入した。彼らは民の高官たちを全て殺し、戦利品を全部ダマスカスの王のもとに送った。24 侵入してきたシリアの軍隊は少数で、ユダの軍勢は非常に多かったが、エホバがシリアの軍隊を勝たせた。民が父祖たちの神エホバを捨てたからである。こうしてシリア人がエホアシュを処罰した。25 シリア人がエホアシュに重傷(*多くの病)を負わせて引き揚げると、エホアシュの家来たちは、エホアシュが流した祭司エホヤダの子たち(*子/ここで用いられている複数形は、ゼカリヤが優れていることを表しているのかもしれない)の血のことで、謀反を企て、エホアシュをベッドの上で殺した。こうして彼は死に、「ダビデの町」に葬られたが、王たちの墓地には葬られなかった) エホバやエホバを愛する人たちのアドバイスに従っていたなら、エホアシュの人生は全く違うものになっていたことでしょう。では、この例からどんなことを学べますか。

7. どんな人を友達にするべきですか。 (写真も参照。)

7 エホアシュの例から、エホバを愛し、エホバに喜ばれることを行いたいと思っている人を友達にすることの大切さを学べます。そのような友達は、良いことを行うよう助けてくれます。どんな年齢の人とも友達になることができます。エホアシュも、自分よりずっと年上のエホヤダを友としていました。友達を選ぶ時には、次のように考えてみましょう。「①この人はエホバへの信仰を強める助けになってくれるだろうか。②エホバの基準を守るよう一緒に頑張ってくれるだろうか。③エホバや聖書の真理についてよく話しているだろうか。④エホバの基準を大切にしているだろうか。⑤必要な時には勇気を持って助言してくれるだろうか」。(格 27:5, 6 はっきり戒める方が、愛を秘めているよりも良い。6 忠実な友は傷を負わせ、敵はたっぷり(if*不誠実な/強いられて)口づけをする, 17 鉄が鉄を研ぐように、人は友を研ぐ) エホバを愛していない人は、あなたにとってためになる友達とは言えません。エホバを愛する人と友達になるなら、その人は必ずあなたの助けになってくれるでしょう。(格 13:20 賢い人たちと共に歩むと賢くなり、愚かな人たちと関わり合うと苦しい目に遭う)

8. ソーシャルメディアを使う時には、どんなことを考えるとよいですか。

8 ソーシャルメディアは、家族や友達と連絡を取るのに便利なツールです。でも多くの人は、自分が買った物やしたことを写真や動画で投稿して自分を良く見せようとしています。もしソーシャルメディアを使っているなら、次の点を考えてみましょう。「①自分の動機は、何か良いものをほかの人とシェアすることだろうか。それとも自分を良く見せることだろうか。②自分の考え方や話し方や行動は、ほかの人が発信する情報の影響を受けていないだろうか」。統治体の成員として奉仕したネイサン・ノア兄弟はこう言いました。「人を喜ばせようとしてはなりません。結局だれも喜ばせることはできないでしょう。エホバを喜ばせなさい。そうすればエホバを愛する人すべてを喜ばせることができるでしょう」。

謙虚な心を忘れない

9. ウジヤはエホバの助けでどんなことをしましたか。 ([歴代第二 26:1-5](#))

9 ウジヤのように良い決定をする。ウジヤ王は若い頃、謙虚な人でした。「眞の神を畏れ」ていました。68年の生涯のほとんどの間、エホバに支えられてたくさんの成功を収めました。 ([歴代 第二 26:1-5](#)) ユダの民は皆、16歳だったウジヤを選び、父アマジヤの代わりに王にした。2アマジヤ王が死んだ後、ウジヤはエロトを再建してユダに取り戻した。3ウジヤは16歳で王になり、エルサレムで52年治めた。彼の母はエコルヤといい、エルサレムの人だった。4ウジヤは父アマジヤと同じように、エホバから見て正しいことを行った。5ゼカリヤの時代には、眞の神を畏れるようゼカリヤに教えられ、ずっと神に仕えた。彼がエホバに仕えた間、眞の神は彼を成功させたを読む。) 多くの戦いで勝利を収め、エルサレムの防備を固めました。 ([代二 26:6-15](#)) ウジヤは出でていってフィリスティア人と戦い、ガトの城壁、ヤブネの城壁、アシュドドの城壁を破壊した。それから、アシュドドの領地とフィリスティア人の領土に町を築いた。7眞の神は引き続き彼を助け、フィリスティア人、グルバアルに住むアラビア人、メウニムに立ち向かわせた。8アンモン人はウジヤに貢ぎ物を納めるようになった。彼の名声はやがてエジプトにまで広まった。彼が非常に強くなったからである。9さらに、ウジヤはエルサレムで「隅の門」と「谷の門」と「控え壁」のそばに塔を建てて、それらに防備を施した。10また、彼は荒野に塔を建て、多くの水ためを掘った(*切り出した/岩から切り出したと思われる)。たくさんの家畜を持っていたからである。シェフェラや平原(*台地)にも同じようにした。彼は農耕を好んだため、山々やカルメルに農業をする人やブドウの栽培人たちを抱えていた。11ウジヤは、戦いに備えた軍隊を持つようになった。軍隊は分隊に組織されて戦いに出掛けた。彼らは、秘書官エイエルと役人マアセヤによって数えられて登録され、王に仕える高官の1人ハナニヤの指揮下に置かれた。12それら強い戦士たちをまとめた氏族長の総数は、2600人だった。13彼らの指揮下には、戦いにすぐに行ける兵士が30万7500人いた。敵に立ち向かう王を支援する強力な軍隊である。14ウジヤは全軍のために、盾、小やり、かぶと、よろい、弓、石投げ器の石を用意した。15さらに、技術者が考案した兵器をエルサレムで造った。矢や大きな石を飛ばせる兵器で、塔の上や城壁の隅の上に据えられた。こうして彼の名声は遠くにまで広まった。大きな助けを得て、強くなったからである) ウジヤはエホバの助けでさまざまな良いことができるようがけて、幸せを感じていたに違いありません。 ([伝 3:12, 13](#) 私はこう結論した。生涯の間、喜び、善を行う。人にとってこれ以上の幸せはない。13人は皆、食べ、飲み、一生懸命働いて充実感を得るとよい。それは神からの贈り物なのだ)

10. ウジヤにどんなことが起きましたか。

10 ウジヤの悪い決定から学ぶ。ウジヤは王として民に命令を与える立場にありました。それで、何でも自分のしたいようにできると思い違いをするようになったのかもしれません。ある日、ウジヤはエホバの神殿に入って祭壇で香をたこうとしました。これは出過ぎた行動でした。王には許されていないことだったからです。 (代二 26:16-18) ところが、ウジヤは強くなるとすぐに心が傲慢になって身を滅ぼした。エホバの神殿に入って香の祭壇で香をたこうとし、エホバ神に対して不忠実なことをしたのである。 17 祭司アザリヤとエホバの勇敢な祭司 80 人が、すぐさまウジヤの後から入っていった。 18 彼らはウジヤ王の前に立ちはだかって、言った。「ウジヤ、エホバに香をたくのはあなたがしてよいことではありません！ 香をたいへよいのは祭司だけです。祭司たちはアロンの子孫で、神聖なものとされているからです。この聖なる所から出ていてください。あなたは不忠実なことをしました。そのため、あなたがエホバ神から栄光を与えられることはできません」) ウジヤは大祭司アザリヤに正されると激怒します。残念なことに、ウジヤはエホバに忠実に仕え続けなかつたために罰せられ、重い皮膚病になりました。 (代二 26:19-21) しかしウジヤは、香をたくための香炉を手にしたまま、激怒した。祭司たちに怒りをぶつけていると、彼の額に重い皮膚病が現れた。エホバの家の中にいた祭司たちの前、香の祭壇のそばでのことだった。 20 祭司長アザリヤと祭司たち皆が見ると、彼の額は重い皮膚病に侵されていた。彼らは急いでウジヤをそこから出そうとし、ウジヤ自身も慌てて出ていった。エホバが彼を打ったのである。 21 ウジヤ王は死ぬ日まで重い皮膚病を患った。重い皮膚病のため、隔離された家に住み続けた。エホバの家から閉め出されたのである。ウジヤの子ヨタムが王の家(*宮殿)を治め、民を裁いた) 謙虚な心を忘れずにいたなら、このような結果にはならなかつたはずです。



自分が成し遂げたことを自慢するのではなく、エホバに感謝する。 (11 節を参照。)

*写真や挿絵: 姉妹がエホバに頼って巡回大会での割り当てを果たしている。その後、エホバに感謝している。

11. 謙虚な心を持っていることは、どんな見方や態度に表れますか。 (写真も参照。)

11 ウジヤは力を持つようになると、全てがエホバのおかげであることを忘れて、感謝しなくなりました。何が学べるでしょうか。私たちが得ている全ての良いものはエホバから来ているということを忘れてはいけません。自分の成し遂げたことについて誇るのではなく、エホバに感謝するようにしましょう。 * jw.org の「『いいね！』がもっと欲しいです」という記事の「謙虚なふりして自慢する(皆さん瘦せたねと言われてうんざり)」囲み参照 (ヨリ一 4:7) というのは、あなたの何が他の人より優れているですか。あなたが持っているもので、もらったのではないものがあるのですか。もらったのであれば、どうしてもらったのではないかのように誇るのですか) 自分が不完全で、矯正を必要としていることを謙虚に認める必要があります。 60 代のある兄弟はこう言っています。「ほかの人から間違いを指摘された時に、よくよ考え過ぎないようにしています。くだらない失敗をして正されることも時々ありますが

、そこから学んで前へ進むようにしています」。エホバへの畏れと謙虚な心を忘れないでいるなら、幸せな生き方ができます。（格 22:4 謙遜さとエホバへの畏れがもたらすのは、富と栄光と命である）

エホバに仕え続ける

12. ヨシヤは若い頃エホバへの崇拝を大切にしていました。どんなことからそれが分かりますか。（歴代第二 34:1-3）

12 ヨシヤのように良い決定をする。ヨシヤは10代の頃にエホバに仕え始めました。エホバについて学び、エホバに喜ばれることをしたいと思っていました。でもヨシヤ王はまだ若く、大変な時代に生きていました。多くの人が間違った崇拝を行っている中でそれをやめさせるのは、簡単なことではありませんでした。でも、ヨシヤは勇気を持って清い崇拝を推し進めました。20歳になる前に、間違った崇拝を国から取り除き始めたのです。（歴代第二 34:1-3 ヨシヤは8歳で王になり、エルサレムで31年治めた。2彼はエホバから見て正しいことを行って、父祖ダビデと同じ道を歩み、右にも左にもそれなかった。3ヨシヤは治世の第8年、まだ少年だった頃、父祖ダビデの神に仕え始めた。第12年には、高い場所、聖木、彫像、金属像を取り除いて、ユダとエルサレムを清め始めたを読む。）

13. エホバに献身するなら、どんな生き方をすることになりますか。

13 ヨシヤのように、若い人もエホバがどんなん方かについて学び、エホバとの絆を強めることができます。そうするなら、やがてエホバに献身したいという気持ちになるでしょう。献身するとどんな生き方をすることになりますか。14歳でバプテスマを受けたルーク兄弟はこう言っています。「これからは何よりもまずエホバのことを考えて、エホバに喜ばれることをしていきたいと思います」。（マル 12:30あなたは、心を尽くし、知力を尽くし、力を尽くし、自分の全てを尽くして、あなたの神エホバを愛さなければならない）あなたも同じような生き方がしたいと思いますか。エホバに献身するなら、たくさんの喜びを味わえるでしょう。

14. 若い人们はヨシヤにどのように倣っていますか。

14 エホバに仕える若い人们は、どんな問題にぶつかることがありますか。12歳でバプテスマを受けたジョハン兄弟は、クラスメートから電子たばこを吸うようにという圧力をかけられました。兄弟はしっかり抵抗できるように、電子たばこが自分の健康やエホバとの関係に悪い影響を与えるということを思い出すようにしています。14歳でバプテスマを受けたレイチェル姉妹は、学校でぶつかる難しい状況にどのように対処しているでしょうか。こう言っています。「いろんなことを聖書やエホバに結び付けて考えるようになっています。例えば、歴史の授業では、聖書中の出来事や預言について思い出します。誰かと話す時は、どんな聖句を伝えられるだろうと考えています」。置かれている状況はヨシヤと違うとしても、良い決定をしてエホバに愛を示すことができます。若い時に上手に問題に対処しているなら、その経験はこれから先、問題にぶつかったときにも役立つことでしょう。

15. ヨシヤがエホバに忠実に仕える上で助けになったのはどんなことでしたか。（歴代第二 34:14, 18-21）

15 ヨシヤは 26 歳の時に神殿の修理に取り掛かりました。その最中に、「モーセを通して与えられたエホバの律法の書」が見つかります。ヨシヤは律法の言葉を聞いて、そこに書かれていることを守るためにすぐに行動しました。（[歴代第二 34:14](#) エホバの家に持てこられたお金が運び出されていました時、祭司ヒルキヤは、モーセを通して与えられたエホバの律法の書を見つけた、[18-21](#) 秘書官シャファンは王にさらに言った。「祭司ヒルキヤから 1 つの書物を渡されました」。そしてシャファンは王の前でそれを読み始めた。19 王は律法の言葉を聞くと、すぐに衣服を引き裂いた。20 それから、ヒルキヤ、シャファンの子アヒカム、ミカの子アブドン、秘書官シャファン、家来のアサヤにこう命じた。21 「私のため、イスラエルとユダに残っている人たちのために、この見つかった書物の言葉についてエホバに尋ねに行きなさい。父祖たちが、この書物に書かれていることをしっかりと守らず、エホバの言葉の通りにしなかったので、私たちはエホバの激しい怒りを浴びることになるからです」を読む。）あなたは聖書を毎日読んでいますか。聖書を読むのは楽しいですか。自分に役立ちそうな聖句を覚えておくために工夫していますか。先ほどのルーク兄弟は、心に残った点を書き留めるようにしています。あなたも、気に入った聖句や学んだ点を思い出せるように、同じようなことができるかもしれません。聖書について知って聖書が好きになればなるほど、エホバに仕えたいという気持ちは強くなるでしょう。そして、ヨシヤと同じように、正しいことをするための力をもらうことができます。

16. ヨシヤが良くない決定をしてしまったのはどうしてですか。私たちは何を学べますか。

16 ヨシヤの悪い決定から学ぶ。ヨシヤは 39 歳の頃、良くない決定をしたために命を落としました。エホバに導きを求めずに、自分に頼ってしまいました。（[代二 35:20-25](#) このようにしてヨシヤが神殿を整えた後、エジプトのネコ王がユーフラテス川のそばのカルケミシュで戦うために上ってきた。ヨシヤはネコに立ち向かおうと出ていった。21 するとネコは使者たちを遣わして、ヨシヤにこう伝えてきた。「ユダの王よ、これはあなたには関係のないことです。私は今日あなたを攻めに来たわけではありません。別の国と戦うためであって、神から急ぐようにと言われています。痛い目に遭わないために、私と共にいる神に逆らうのはやめなさい。さもなくとも、神はあなたを破滅に陥れます」。22 ところが、ヨシヤは引き返さず、ネコと戦うために変装し、神の口から出たネコの言葉を聞き入れなかつた。こうしてヨシヤは戦うためにメギドの平原に向かった。23 ヨシヤ王は弓を射る人たちに撃たれ、家来たちに言った。「ここから連れ出してくれ。ひどい傷を負ってしまった」。24 そこで家来たちは彼を兵車から出し、第 2 の戦車に乗せてエルサレムに連れ帰った。ヨシヤは死に、父祖たちの墓に葬られた。ユダ全体とエルサレムはヨシヤの死を悼んだ。25 エレミヤはヨシヤのために歌った。今も男女の歌い手たちは皆、ヨシヤについての哀歌を歌う。その歌は、イスラエルで歌うことが定められ、哀歌集の中に載せられている）このことから何を学べますか。何歳であっても、どれほど長く聖書を学んでいるとしても、エホバとの絆を大切にし続ける必要があるということです。それで、いつでもエホバに導きを求めて祈り、聖書を学び、経験を積んだクリスチヤンのアドバイスによく耳を傾けましょう。そうするなら、重大な間違いを避けることができ、幸せになれます。（[ヤコ 1:25](#) しかし、自由をもたらす完全な律法をじっくり見て守る人は、聞いてすぐに忘れるのではなく、行動します。そのような人は幸せになります）

若い皆さん、幸せになってください

17. ユダの3人の王からどんなことを学びましたか。

17 若い人たちにはいろいろな可能性があります。エホアシュ、ウジヤ、ヨシヤの例から分かる通り、若い人たちも賢い決定をしてエホバに喜ばれる生き方をすることができます。もちろん、3人も失敗してしまったことがありました。私たちはその失敗から学びましょう。そして、3人の良い点に倣いましょう。そうすれば幸せな生き方ができます。



ダビデは若い時からエホバとの絆を大切にしたので、エホバに愛され、幸せな人生を送った。（18節を参照。）

18. 幸せな生き方をしたどんな人の例を調べることができますか。（挿絵も参照。）

18 聖書には、エホバとの絆を大切にし、エホバに愛され、充実した人生を送った若者の例がほかにも載せられています。例えばダビデは、若い時にエホバを友として選び、後にエホバを愛する王になりました。もちろん間違いもしましたが、エホバはダビデのことを忠実な人と見ていました。（王一3:6 ソロモンは言った。「忠実に正しく、また正直な心であなたに仕えた(d*の前で歩んだ)私の父ダビデに、あなたは大きくて揺るぎない愛を示してくださいました。そして、その王座につく子を与えることにより、今日までその揺るぎない大きな愛を父に示し続けてくださいました；9:4, 5 あなたが父ダビデと同じように、私が命じたこと全てを行って、清い心で(*忠誠心を尽くして)正直に私に仕え(d*の前で歩み)、私の規定と法規を守るなら、5 私は、あなたの父ダビデに『イスラエルの王座には必ずあなたの家系の人がつく』と言って交わした約束の通り、イスラエルを治めるあなたの王国の王座が永遠に揺るがないようにする；14:8 (ヤラベアムに)そしてダビデ家から王国を引き裂いて取り上げ、あなたに与えたが、あなたは私に仕えたダビデのようにはならなかった。彼は私のおきてを守り、私から見て正しいことだけを行って、心を尽くして私に従った）ダビデの生涯について調べると、エホバに忠実に仕えていこうという気持ちが強まるでしょう。マルコやテモテについて調べることもできます。2人も若い頃からエホバに仕え、エホバに喜ばれる幸せな生き方をすることができました。

19. あなたはどんな人生を送りたいですか。

19 あなたがどんな人生を送れるかは、今どんな生き方をするかに懸かっています。自分の考えではなくエホバに頼るなら、賢い決定ができるよう助けてもらいます。（格20:24 人の歩みはエホバによって導かれる。人はどうして自分の道(*行くべき道)を理解できるだろうか）幸せで充実した生き方ができます。あなたがエホバのために努力する時、エホバはとても喜んでくださいます。優しいお父さんエホバに仕えるなら、最高の人生を送ることができるでしょう。

1. エホアシュ

- ・S05 聖書に基づくアドバイスを当てはめて行動するという賢い決定をするなら、親だけでなくエホバに喜んでもらい、エホバとの絆を強くすることもできる
- ・S07 エホバを愛し、エホバに喜ばれることを行いたいと思っている人を友達にするなら、その人は必ずあなたの助けになってくれる。
- ・S08 ソーシャルメディアの使い方でも、エホバを喜ばせ、エホバを愛する人すべてを喜ばせることができるようにして、他の人の悪い影響を受けないように注意する

2. ウジヤ

- ・S09 ウジヤ王は若い頃、謙虚な人で、真の神を畏っていた。68年の生涯のほとんどの間、エホバに支えられてたくさんの成功を収めた。若者たちも、エホバの助けでさまざまな良いことを行うことができ、幸せを経験できる。
- ・S11 ウジヤは力を持つようになると、全てがエホバのおかげであることを忘れて、感謝しなくなり、災いを身に招いた。若者たちも、①エホバへの畏れと、②自分が不完全で矯正を必要としているという謙虚な心を忘れないでいるなら、幸せな生き方ができる

3. ヨシヤ

- ・S12 ヨシヤは10代の頃にエホバに仕え始め、エホバについて学び、エホバに喜ばれることをしたいと思っていた。まだ若く、多くの人が間違った崇拜を行っている大変な時代に生きていたが、勇気を持って清い崇拜を推し進め、20歳になる前に間違った崇拜を国から取り除き始めた
- ・S13 ヨシヤのように、若い人もエホバがどんな方かについて学び、エホバとの絆を強めるなら、やがてエホバに献身したいという気持ちになる。献身すると、何よりもまずエホバのことを考えて、エホバに喜ばれる生き方がしたいと思い、沢山の喜びを味わえるようになる
- ・S14 献身という良い決定をするなら、難しい問題にぶつかってもエホバに愛を示すことができる。若い時に上手に問題に対処しているなら、その経験は将来問題にぶつかったときにも役立つ
- ・S15 聖書を毎日読んで、有用な聖句を覚えるよう努める。聖書について知って聖書が好きになればなるほど、エホバに仕えたいという気持ちは強くなり、正しいことをする為の力をもらえる
- ・S16 ヨシヤは39歳の頃、エホバに導きを求めずに、自分に頼って良くない決定をしたために命を落とした。何歳であっても、どれほど長く聖書を学んでいるとしても、エホバとの絆を大切にし続ける必要があることが分かる。それで、いつでもエホバに導きを求めて祈り、聖書を学び、経験を積んだクリスチャンのアドバイスによく耳を傾るなら、重大な間違いを避けることができ、幸せになれる

144番の歌 報いを見つめて

△若いさんは、エホバとの友情を保ったり正しいことをしたりするのを難しく感じことがあるかもしれません。エホバはその気持ちをよく分かってくれています。どうすれば、賢い決定をして天のお父さんに喜んでもらえるでしょうか。ユダの王になった3人の若者の例から学ぶことができます。